



夏本番を迎え暑い日々が続きます。どうぞ自愛いただけますようご祈念申しあげます。

去る4月23日に執行されました統一地方選挙後半戦においては皆様の温かいご支援を頂戴し、3期目の議員として活動させていただくことが出来ました。

令和3年度と4年度の2か年は議会選出の監査委員として勤めさせていただき、その間、この壇上にての発言は控えさせて頂いておりましたが、令和5年第2回定例会の6月議会では約27月ぶりに登壇させていただく事となりました。

平成28年の立候補以来「市民のみなさまとともに確かな未来を!創ります」をテーマに活動を行ってまいりました。改めて初心に戻り、議員活動を進めて参ります。どうぞ、引き続きのご指導を賜りますよう宜しくお願い申しあげます。



よりかずビジョン

我が国の人口は、長年続いてきた増加傾向から減少傾向になり、早、約20年が経過し、団塊ジュニア世代が高齢化する2040年代以降のインフラの維持管理に関する課題が発信されています。その理由として、経済活動の鈍化による税収などの減少が見込まれる一方、社会保障関係経費等の増加による、財政の硬直化。そして、技術者の減少であります。財源と人材に余裕がなくなり、官民間問わず、インフラの老朽化への対応が難しくなり、全般的に住民サービスの低下を招くおそれがあります。との報道を眼にすることもあります。本市も、人口減少の事実については否めないのであります。そこで今回は、八幡市内の道路政策について市の考えや今後の方針について伺いました。その質問と八幡市より頂いたご答弁を抜粋いたしました。



質問 国交省事業の国道1号交通安全対策歩道整備事業の令和4年度末の進捗状況を問う。

答弁 国道1号歩道整備事業は整備区間1・9kmを第1、第2、第3工区に分割し事業を進められ、現在、第2工区を先行し用地取得を進めている。令和4年度末の進捗率は第2工区におきまして面積ベースで約36%でございます。



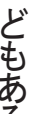
質問 今回の歩道工事は上下水道も同時に布設されていると聞いている。それらは、京都方面行、大阪方面行それぞれに埋設されるのか。

答弁 水需要の拡大や未普及地域の解消を図ることを目的としており、京都方面・大阪方面それぞれに埋設する計画としております。



質問 歩道整備に併せて行う上下水道の新設工事の費用負担はのどのようになるのか。補助金などもあるのか。

答弁 本市上下水道事業で負担しなければなりません。なお補助金等につきましては、新設工事の場合上水道にはございませんが、下水道においても新設工事に係る国庫補助金制度がございますので、これを活用しながら事業を進めてまいりたいと考えております。



質問 上水道の供給や下水道の接続の予定や計画を問う。

答弁 水道事業につきましては、国道1号歩道整備事業に併せて布設する配水管を利用し、産業振興ゾーンへ上水道の供給が可能な計画としております。また下水道事業につきましても、産業振興ゾーンを下水道整備が可能な地域としており、府道交野久御山線から接続する計画としております。なお、対象地域は、産業振興ゾーンのうち戸津及び内里地区となります。



**質問** 供給地域に上下水道を接続することにより、上下水道の収益面の期待感はどのように評価しているのか。

**答弁** 地下水から上水道への切り替えや下水道への接続により、収益の増加が図れると考えております。また、産業振興ゾーンにおいても上下水道が整備できる環境を整えましたので、将来的には上下水道の利用拡大につながっていくものと期待しております。

**質問** 今回新設される歩道幅は何mを計画されておられ、自転車の通行についてはどのようになるのか？また、中央分離帯の設置についてはどのようになるのか問う。

**答弁** 国道1号にて新たに整備される歩道につきましては、幅員3・5メートルで計画されており、自転車の通行も考慮されております。また、中央分離帯につ

**質問** 本市も昭和30年ごろからの市街化の拡大と新築住宅ラッシュにより人口は増え続け、それと共に道路は整備されてきた。しかし、気温の寒暖差や、雨や降雪による老朽化から交通量の多い路地などでは路面にクラックが入り水が滲み路面やその下地までが大きく損傷する。また、石清水八幡宮駅から市内へと情緒ある街道である市道森高坊線の10センチメートル角の石畳の路盤にひびが入り、路面の一部に凹みのある箇所が数mおきに何力所もあり雨水がたまっているところが見受けられる。また、私の住まいする地区内の道路も50年が経過しようとしている。住宅の連立する小さな路地ではあるが、府道より一つ入ったその路地では舗装に不陸が生じている箇所がある。この間、補修されるところもあるのだろう

いても、整備予定である。と京都国道事務所から伺っています。

**質問** 次に都市計画道路八幡田辺線の現在の進捗状況を問う。

**答弁** 八幡田辺線整備は用地取得、道路築造工事が進められ、進捗状況は用地取得面積ベースでは用地取得面積が約81%、築造工事は事業区間680m内、約350mが舗装工事を除き完了していると京都府山城北土木事務所から伺っております。

**質問** 今回はどこまでの計画となるのか。

**答弁** 都市計画道路八幡田辺線でございますが、国道1号から西へ680メートルの防賀川沿いの戸津北戸津までの区間を京都府において整備を行う計画とされております。また、接続する路線は市道二階堂川口2号線でございます。

**質問** そとで①番の

が、場合によってはこれらの現象に補修は該当せず、アスファルトの下の路盤からの、それこそ長寿命化のための工事が必要でないか。所見を問う。

**答弁** これまで主に幹線道路を対象として平成30年に策定しました舗装修繕計画に基づき、アスファルトの下の路盤改良も含めた計画的な修繕を実施するとともに道路パトロールで見つけた損傷や自治会等から寄せられた要望等にも随時対応してきたところでございます。しかしながら、限りある予算内での対応となることから、議員ご案内のとおり、十分な手当てが行き届いていない路線もございます。今後、計画的かつ効率的な道路の維持管理に努め道路インフラの長寿命化を図って参りたいと考えております。**質問** 住宅街に入っは交通量が多くまた、狭

二階堂川口2号線と二階堂川口線との接続箇所、②番の巡検道2号線との交差する箇所。そして、③2本の農道。そして現在工事中の④八幡田辺線の交わる箇所、さらに、通学路になっていると思うが蜻蛉尻西線と八幡田辺線との⑤交差部分。この6カ所の横断歩道並びに信号の設置の計画等はどのような形状になっているのか。それぞれの信号の計画と交差点の形状を問う。



**答弁** 市道二階堂川口2号線における横断歩道・信号の設置につきましては、都市計画道路八幡田辺線と接続する箇所

小であるため自動車が関係することは勿論、自転車同士や歩行者を交えの度が高いと聞く。出会いがしら事故に関わる対策として、どのように捉えるのか所見を問う。

**答弁** 交通安全対策としましては、公安委員会が所管する信号機や横断歩道の設置、一時停止規制のほか、信号機が設置されていない交差点では、本市にてカーブミラー、点滅鎮、交差点マークといった路面標示の設置などを行っております。また、近年はこれに加え、横断歩道の視認性を向上させることを目的に、横断歩道のカラー化も実施しているところでございます。今後も道路利用者や自治会等のご意見、ご要望を伺いながら、公安委員会等の関係機関とも連携し、交差点の更なる安全性の向上に努めて参りたいと考えております。

を除き、市が整備に先立ち、京都府公安委員会と協議を行っております。その結果、議員ご案内の①市道二階堂川口線との接続箇所、②巡検道2号線・③2本の農道と交差する箇所には横断歩道及び信号は設置しない計画となっております。

また、④市道二階堂川口2号線と都市計画道路八幡田辺線は今回の整備では直角形状の交差点となり、暫定計画での接続となることから、横断歩道・信号の設置は計画されておられません。

また、⑤市道蜻蛉尻西線と都市計画道路八幡田辺線と交差する箇所につきましては、現在設計中であり、今後京都府公安委員会と協議を行っていくと、京都府山城北土木事務所から伺っております。

**質問** 次に、市道二階堂川口2号線と、都市計画道路八幡田辺線の供

用が開始された後、八幡田辺線の延伸計画等について具体的なものがあるのか。

**答弁** 都市計画道路八幡田辺線と市道二階堂川口2号線間が供用された後の八幡田辺線の延伸につきましては、現時点で具体的な事業の計画はございません。

**質問** 次に、八幡市道の計画的な整備・長寿命化を問う。

**答弁** 令和5年4月1日現在、八幡市市道認定要綱に基づき認定し、維持管理を行っている市道は、1,357路線、総延長約255kmございます。今後加速度的に進むと言われているインフラの老朽化が全国的に課題となっており、本市においても例外では無いことから、これまで道路の計画的な維持管理・長寿命化に取り組んできたところでございます。

**よりかすビジョン** 我が国の総人口が減っていく中で技術者や技師の人数も絶対的に減少するものと考えられる。そこで、令和4年3月改訂の八幡市公共施設等総合管理計画ではインフラ施設の維持管理・修繕・更新等の方針ではPPPの導入等の民間活力の導入を検討します。とある。その体制や、実際に運用するための検討時間も必要であると思う。今回の質問としての市道の維持管理については、民間ノウハウの活用やAIを利用した調査等、本格的なPPPの活用時期にきているのではないかと考える。時間的に余裕をもって活用に向かって進めるべきと思う。提案とする。

**質問** 5月27日淀川河川公園背割堤地区で開催の「背割堤のチャリサイ1-2023」についての考えを問う。**答弁** 今回の「チャリサイ1」では、およそ六千人もの来場があったと伺っております。平成30年か

ら、講習会や試乗会などのサイクリングイベントを積み重ね、サイクリング拠点としての認知を高めてこられた成果であると感じております。市としましては、現行の観光基本計画において、さらさらであい館をサイクリストが集まる拠点性を活かすこととしており、今後とも出店事業者や交通機関をはじめとする民間事業者が連携し、さらなる盛り上がり、イベントの継続実施を期待しているところでございます。**質問** 埼玉県から来られ自転車販売されている方に聞くと、この地は、周遊ではなく片道自転車、その延長は公共機関での移動が可能であり人が集まるポテンシャルとしては、全国的にも数少ない魅力のある地域とのこと。市としてこのポテンシャルの有無についてどの様に感じているかを問う。



**【答弁】** 背割堤は、京都嵐山と奈良の二大観光地を結ぶ「京都八幡木津川自転車道」、通称「木津川サイクリングロード」のちょうど中間に位置し、大阪府にも近接する立地に恵まれた場所でございます。すでにサイクリストが多く訪れる拠点となっておりポテンシャルは高いと感じております。



さくらであい館の全望風景

**【質問】** サイクリングロードはさくらであい館を中心に京都、奈良方面へつながり、大阪方面へも今後期待できる。そこで、このサイクリングロードの沿線で本市内の公衆トイレはどこに、何かあるのか。

**【答弁】** 木津川サイクリングロード沿線の本市内のトイレは、淀川河川公園背割堤地区の入り口に近い園路沿いに一か所、上津屋橋、通称「流れ橋」付近に一か所、合計2か所の公衆トイレがございます。

**【質問】** 次に、サイクリストに限らず歩行者も含め、ケガ等疾病者の緊急時に救急車がこのロードに面して救護にあたる場所はどこに何か所あるのか。

**【答弁】** サイクリングロードでの疾病者の看護にあたる場所等についてでございますが、救急車にはサイクリングロード進入路の鍵を積載しておりますので、現場直近で救急救護活動を行っております。

**【質問】** 自転車を石清水八幡宮駅前に止め置いて石清水八幡宮にお参りに行かれる方もおられるとのこと。第5次総合計

画の「幸せと出逢うまちづくり」には「石清水八幡宮や松花堂庭園、三川合流域、背割堤、流れ橋、浜茶の景観、エジソン記念碑、茶文化をはじめとする誇れる観光資源が数多くあります」と記されている。この8つのアイテムの内4つがサイクリングロードから見渡せ、茶文化については四季彩館の八幡家で浜茶を味わっていた。更には、市民体育館でもシャワーの利用もできる、四季彩館の四季の湯や宿泊施設を利用いただく。そして、交流人口の増大を図る計画を進めてはいかかと思うが、その所見を問う。

**【答弁】** 現行の観光基本計画のアクションプランにおいて、サイクリングの周遊促進として「石清水八幡宮など寄り道資源のPR」を掲げ取り組んでまいりました。今年度新たに策定する観光基本計画において、さくらで

画の「幸せと出逢うまちづくり」には「石清水八幡宮や松花堂庭園、三川合流域、背割堤、流れ橋、浜茶の景観、エジソン記念碑、茶文化をはじめとする誇れる観光資源が数多くあります」と記されている。この8つのアイテムの内4つがサイクリングロードから見渡せ、茶文化については四季彩館の八幡家で浜茶を味わっていた。更には、市民体育館でもシャワーの利用もできる、四季彩館の四季の湯や宿泊施設を利用いただく。そして、交流人口の増大を図る計画を進めてはいかかと思うが、その所見を問う。

あい館だけでなく、議員ご紹介の他のスポットにも立ち寄っていただけるよう、観光基本計画推進協議会の中で、協議してまいりたいと考えております。



**よりかずビジョン** このサイクリングロードはお茶の京都観光情報サイトにも掲載されており、初心者でも楽しめるのも書いていただいている。そして、さくら出会い館のある御幸橋はそのハブ的に位置している。このサイクリングロード沿いに飲食や、休憩と共同にリピーターとなる資源の開発と発信に力を入れ本市のPR。そして、民間の力による地域経済の活力となればと考える。実際に本市にお住いの方が飲食の販売や、オリジナル自転車の販売もされていた。そういう方々のご意見も聞きながら、資源を活かした周遊観光「幸せと出会う健康なまちづくり」の一つの手段として取り組んでいただきたく強く要望する。

このサイクリングロードはお茶の京都観光情報サイトにも掲載されており、初心者でも楽しめるのも書いていただいている。そして、さくら出会い館のある御幸橋はそのハブ的に位置している。このサイクリングロード沿いに飲食や、休憩と共同にリピーターとなる資源の開発と発信に力を入れ本市のPR。そして、民間の力による地域経済の活力となればと考える。実際に本市にお住いの方が飲食の販売や、オリジナル自転車の販売もされていた。そういう方々のご意見も聞きながら、資源を活かした周遊観光「幸せと出会う健康なまちづくり」の一つの手段として取り組んでいただきたく強く要望する。



八幡市議会議員  
**奥村よりかず 事務所**  
 〒614-8024 八幡市八幡双葉10番地の5  
 携帯 090-3263-1519  
<http://yorikazu.com/>  
  
 LINE公式アカウント

- 令和5年度所属**
- 委員会**  
 総務常任委員会 委員長  
 議会活性化特別委員会 副委員長  
 広報編集会議 委員
- 城南衛生管理組合議会**  
 総務常任委員会 副委員長